

# 琉球・沖縄 年中行事 Q&A

## 法事のお墓参りのしきたりについて



●Answer

沖縄市・コザ山 球陽寺 前任職  
帰依 龍照 (きえりゆうしょう)



沖縄では、法事の前  
に墓参りするのが一

般的ですね。わが家でもそれが当たり前と思つていますが、人数や持参品、墓参りの日にちなどで、親戚の意見が分かれてしまい困つていきます。理由と、その際のおよきアドバイスをお願いします。

(那覇市70代・男性)



ご法事の前に  
お墓参りする理由

沖縄のしきたりに詳しい方々は「ウヤファーフジのウンチケー(ご先祖さまのご案内)」と解釈されるといいます。すなわち、ウスコー(ご焼香)をお勤めする場所が自宅の仏壇になることが多いことから、お墓の中に納骨されている故人さまを、ご法事の当日だけトートローマーへご案内するということ考え方から来ているのだといわれます。

後にお墓参りする理由

県外の多くの地域や家庭では、ご法事の後にお墓参りをするのが一般的です。その理由については、「法事の終了の報告」と解釈されています。つまり、多くの場合でご法事をお勤めする場所が自宅の仏壇になることから、お墓の中に納骨されている故人さまにご法事が仏壇のお位牌(いはい)の前で、無事終了したということ報告するとの考え

方からきています。他にも、お墓参りに行く際、自宅に残つた親族が「ご満座(ごまんざ)法事が終了したことに感謝する食事会」の準備を円滑に行うため、ご法事の後に墓参りするようになったとの説もあります。

ご法事前のお墓参りの手順

地域性や家庭性に富む沖縄でもいろいろな考え方がありますが、ご法事の前のお墓参りの手順について、おおむね、以下にまとめさせていただきました。

①ご案内

喪主を含む、家族や親族の代表者が、当日の午前中(午後の場合もあり)に、お墓へ向き、ハルウコール(お墓の香炉)に焼香した後、故人さまのお名前・ご命日・亡くなられた年齢(数え齢)・何回忌などの詳細を報告して、トートローマーにてご法事をお勤めするため、「トートローマーに、ウンチケーシミソリヨサイ(タイ)」と、お墓から自宅にご案内を申し上げます。

②焼香の作法

ウンチケーの焼香では、ヒラウコーを15本(12本、3本の場合もあります)用います。ただしここでは点火せずお供えし、それを持ち帰って自宅で点火し、トートローマーのウコー

(香炉)にお供えするという作法もあります。これを「ヒジュールウコー(冷御香)」または「カラウコー(空御香)」といひ、点火してないヒラウコーに故人さまのマブイ(魂)を丁寧に乗せて、ご案内するとう考え方になります。

③ウサギムンの作法

ウサギムン(お供え物)は、自宅よりもお墓のお供えの量を少なめにするとの考え方があります。これは、少ない場所より多い場所の方が、ご法事の中心の場所になるといふ、アジア圏の古典的なしきたりに由来します。実際、事前のお墓参りで、料理はもちろんお菓子や果物もお供えしないことがあるのも、そのような理由からだと言えらるでしょう。このようなときは、生花・ウチャートー(お茶・お水)・鳥酒のみのお供え物になります。

判断ください。

④お墓への持参品

ヒラウコー・生花・ウチャートーが基本となりますが、お菓子や果物を持参しても差し支えありません。重箱の場合は、自宅が二重箱であれば、お墓は二重箱のハンクンのように、お墓は自宅の数量を超えないよう配慮することもあります。

⑤お墓参りに行く日

ご法事の前のお墓参りがウンチケーですので、都合が悪ければ前日でも、数日前でも差し支えありません。その際は、ご法事を行う月日を明確に報告すれば、とてもありがたいご供養になるといいます。

このように、沖縄ではご法事の当日にお墓参りを行い、お仏壇でのご法事を執り行います。これもウヤファーフジを大切に敬う沖縄だからこそのしきたりといえるでしょう。

⑥お墓に行く人数

3人や5人など、奇数を重んじる地域や家庭もありますが、偶数の人数でも喪主を外せば奇数という拡大解釈もありますから、そのままのお墓参りが可能です。家族、親族の現状に合わせてご

